

介護・ヘルパーネット NEWS ⑧

全国労働組合総連合 〒113-8462 文京区湯島2-4-4 全労連会館4階 TEL03-5842-5611

“介護をよくするアクション月間”実施中！ 組合員向けに「お手紙作戦」 しまね介護福祉ユニオンBONDS 「自分が(感染の)媒介者にならないか不安」など切実な声

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が全国に発せられたなか、介護職場の現場では、利用者の通所の自粛や訪問介護ができない状態となり、また、マスクや消毒液などの防護具や衛生用品も圧倒的に不足するなど、これまでにない困難な状況となっています。こうしたなか、全労連が呼びかけた2020年春の「介護を良くするアクション月間（5月）」にあわせ、各地でとりくみが行われています。

自治労連島根県事務所の「しまね介護福祉ユニオンBONDS」は、5月、介護現場で働く労働者（組合員）への「お手紙作戦（アンケート）」にとりくみ、多くの回答が寄せられています。ここには「減収で生活が苦しい、（特別定額給付金の）10万円では足りない」「みんな、コロナ対応で疲弊している」「（マスク・消毒液など）必要物品が足りない」「自分が媒介者にならないか不安」「学校が休校しているが、保育園も（登園）自粛ムードで預けにくい」などの切実な声であふれています。

島根県事務所とBONDSでは、これらの声を要望として整理し、県や市に対する要請行動を行い、とりくみをすすめています。【5/29「自治労連速報 新型コロナ対策ニュースNO48」より】



明るい未来 ホットする介護 旭川市道北勤医労がスタンディング宣伝

道北勤医労は5月28日、旭川市にある道北勤医協一条通病院職員駐車場で大通りに向かって、スタンディング宣伝を行い、28人が参加。手作りの「明るい未来 ホットする介護」横断幕や要求プラカードを掲げました。



＜お知らせ＞

6月も引き続き介護をよくするアクション月間とします。宣伝の写真など送ってください。介護現場の要求を #介護現場からのSOS でアピールしましょう。